

大船渡湾内観測結果(No.6)

“今月の話題”

湾内の水温は17～21℃台であり、例年並となっています。二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは、先月よりも高く、表層ほど高くなっています。珊瑚島の北側と湾口付近は海底の溶存酸素が低くなっています。

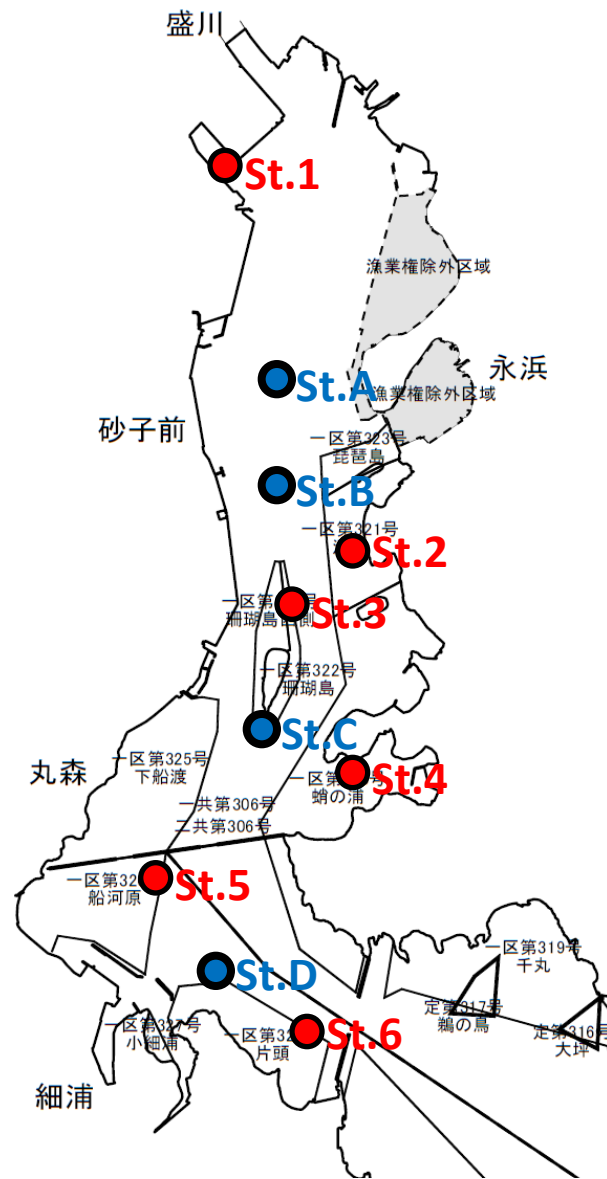
9月13日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

透明度は3.0～8.0mであり、平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、-3.8～-0.3mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが20.3～21.4℃、水深10mが19.9～20.1℃でした。平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、水深2.5mが-0.8～+0.3℃、水深10mが-0.6～±0.0℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾
 調査担当:水産技術センター、大船渡市

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成30年9月13日					
観測時刻		11:35	11:51	11:09	10:49	10:33	10:14
天候		曇					
気温(°C)		22.7					
風向		SE					
風力		1					
水深(m)		8.3	23.7	26.3	18.5	24.6	35.8
透明度(m)		3.0	4.5	4.5	5.0	8.0	6.0
水色		10	9	10	9	7	9
水温(°C)	表層0m	21.6	21.5	21.0	20.9	20.2	20.5
	水深2.5m	20.9	21.3	20.9	21.4	20.8	20.3
	水深10m	-	20.1	20.1	20.1	19.9	19.9
	海底上1m	20.1	18.9	18.4	19.5	18.3	17.1
塩分	表層0m	24.7	30.6	30.2	30.2	30.1	30.4
	水深2.5m	33.1	33.2	33.1	33.1	32.2	31.4
	水深10m	-	33.7	33.6	33.7	33.6	33.6
	海底上1m	33.6	33.7	33.8	33.7	33.8	33.9
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	109.3	128.5	126.1	117.5	110.9	116.7
	水深2.5m	114.4	99.6	105.3	105.2	113.6	115.3
	水深10m	-	100.8	98.6	101.3	101.8	99.4
	海底上1m	75.4	58.7	36.5	74.0	50.5	46.2
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	5.5	4.0	4.4	3.2	2.1	3.3
	水深2.5m	8.0	4.0	4.2	1.9	3.0	2.7
	水深10m	-	2.2	1.9	2.4	1.5	1.4
	海底上1m	2.2	0.8	0.6	1.2	0.6	0.4



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

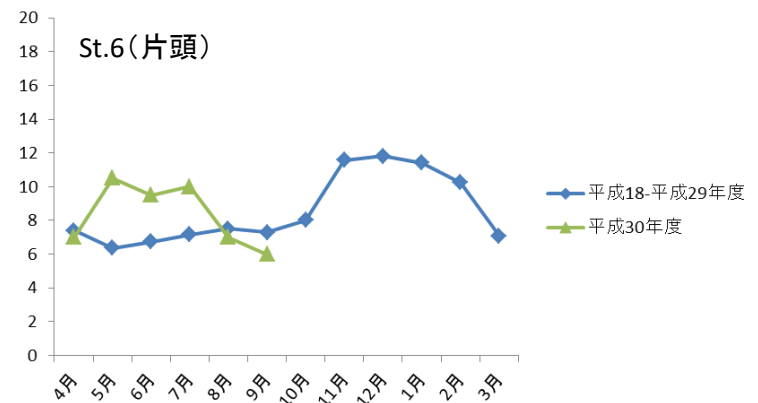
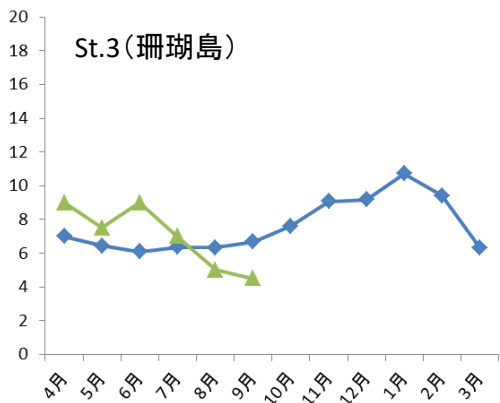
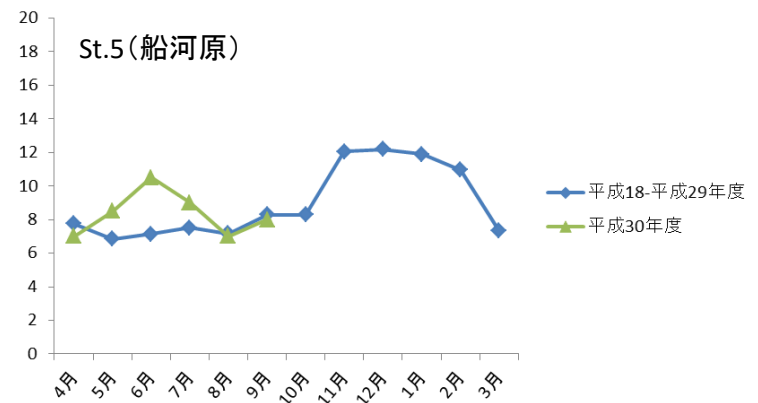
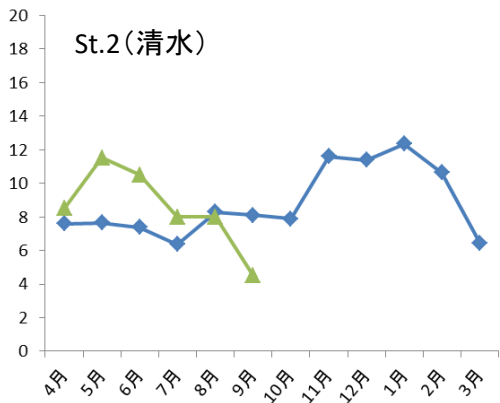
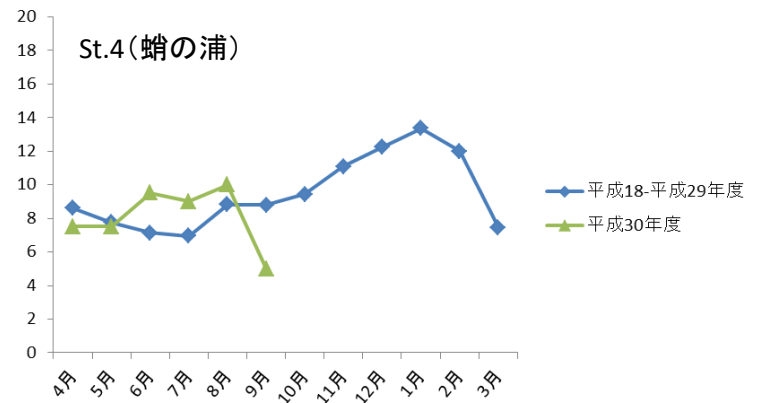
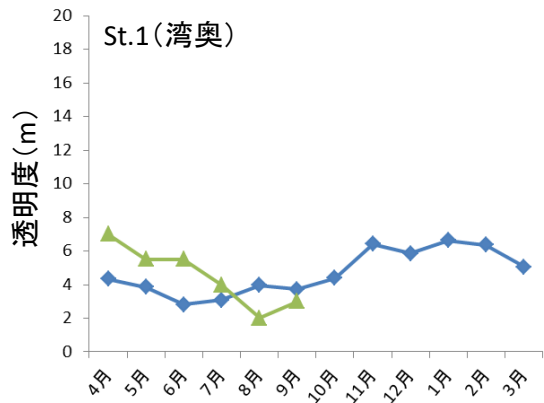


図2 透明度の推移

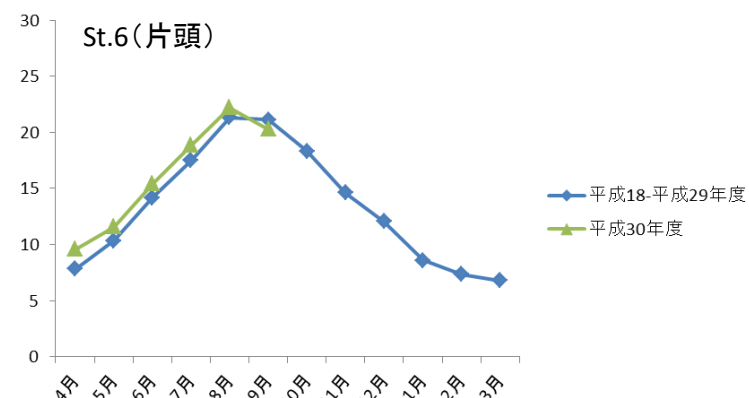
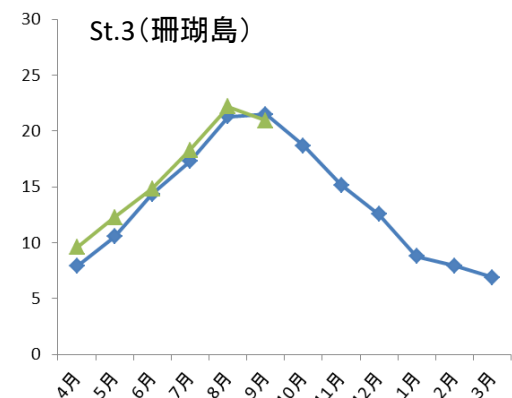
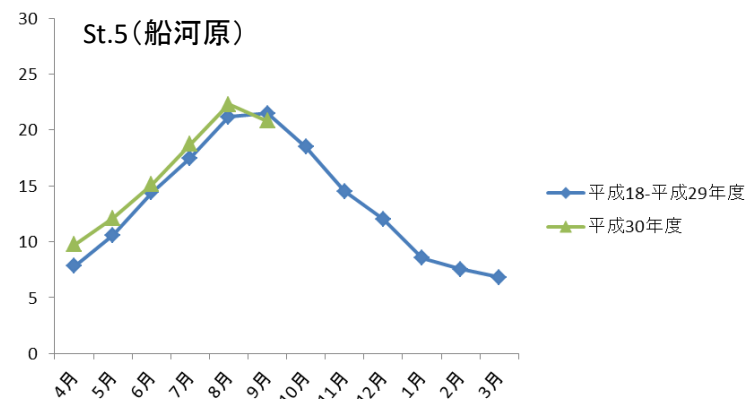
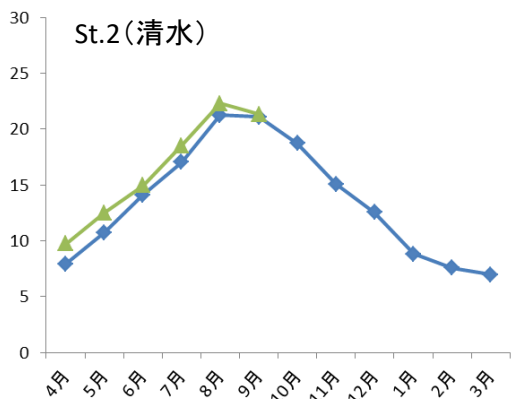
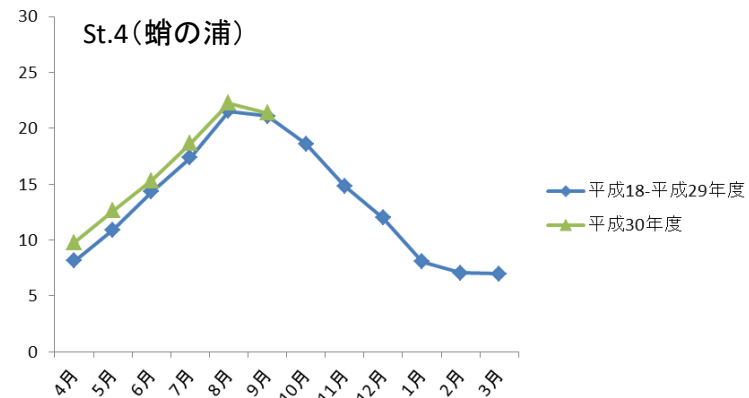
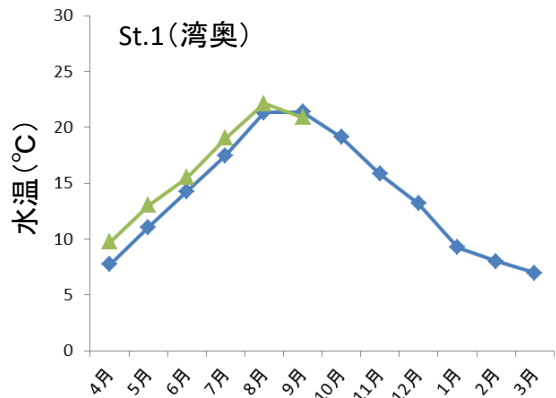


図3 水深2.5mの水温の推移

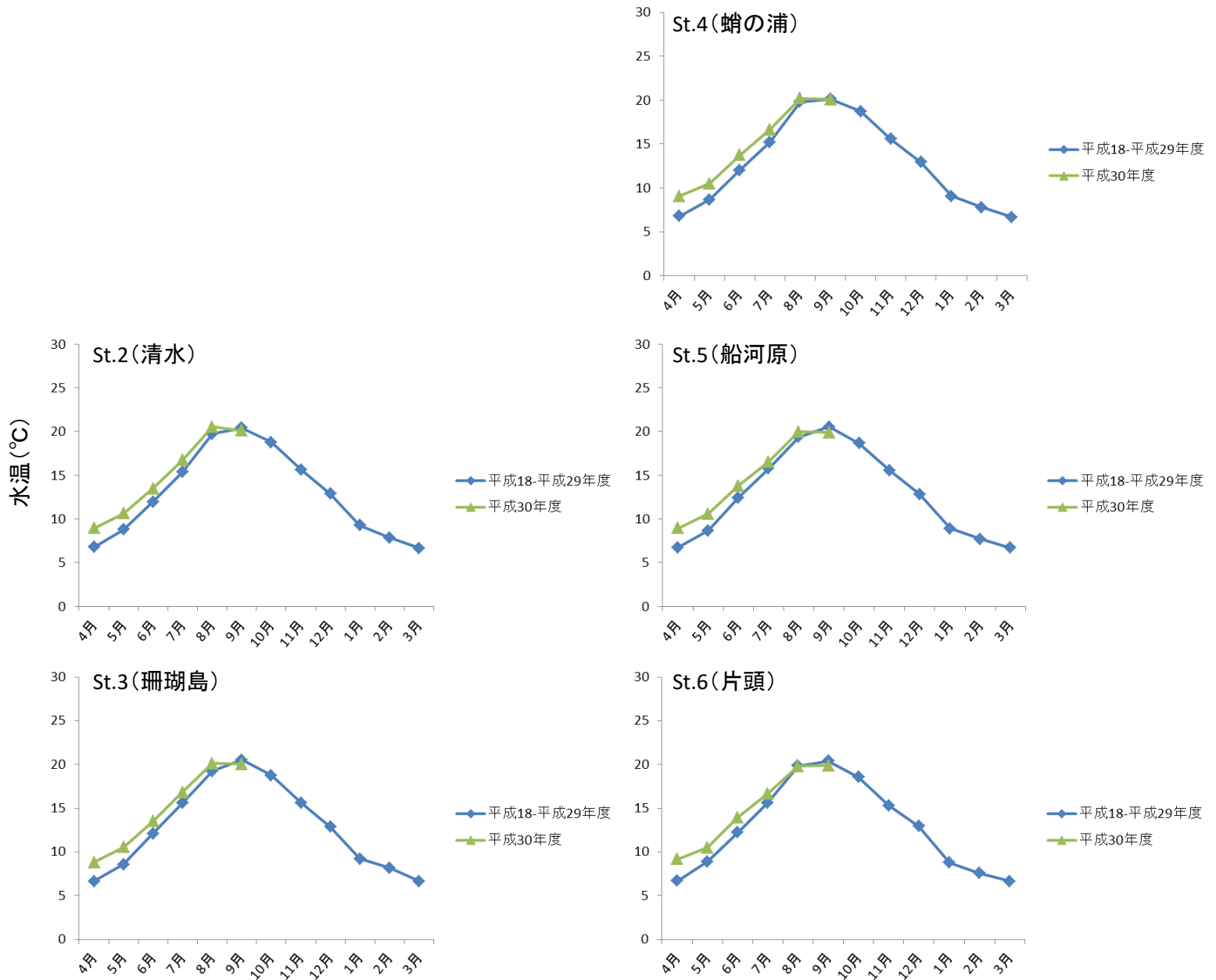


図4 水深10mの水温の推移

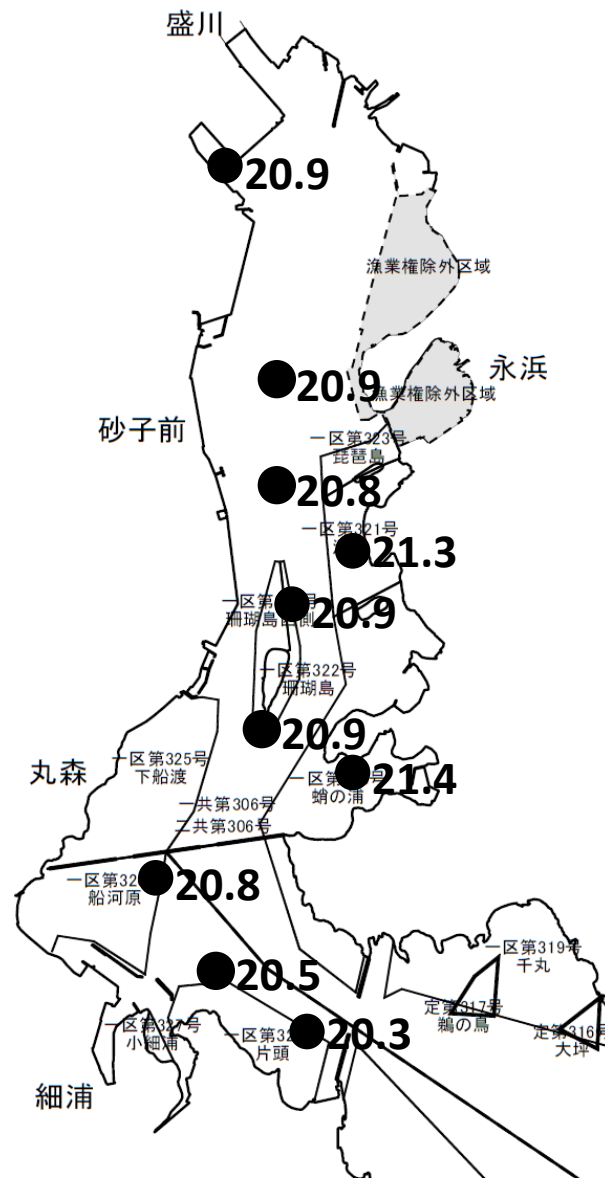


図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

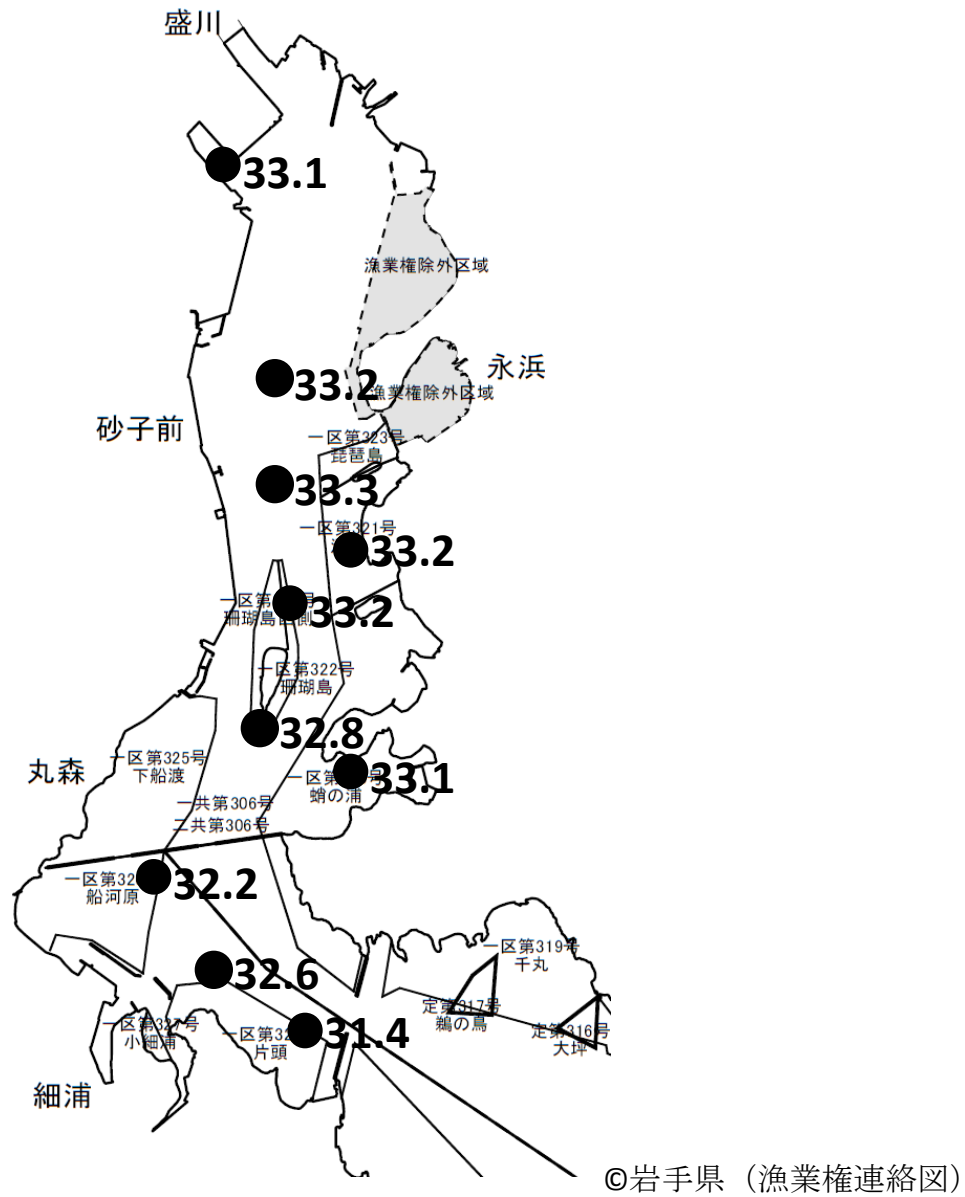


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

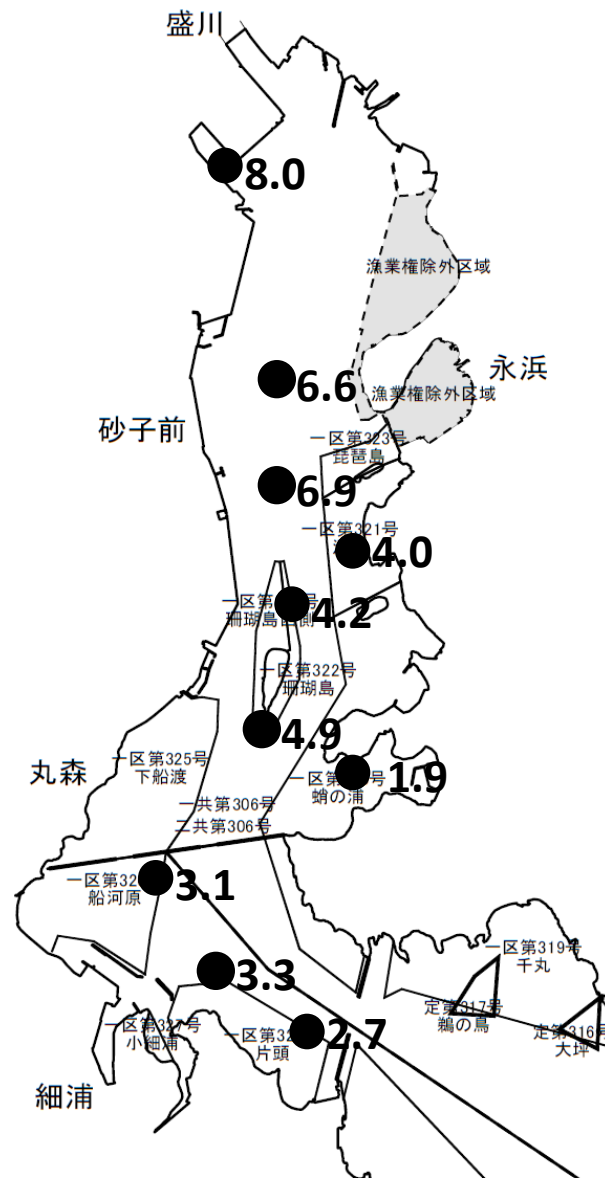


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。